

東芝ヒートポンプ給湯機 取扱説明書



形

名

システム名称

HW801T3 HW1401T4
HW801T4 HW1401T5
HW801T5 HW1401S11
HW1401T3 HW1401S17

貯湯タンクユニット メイン貯湯タンクユニット

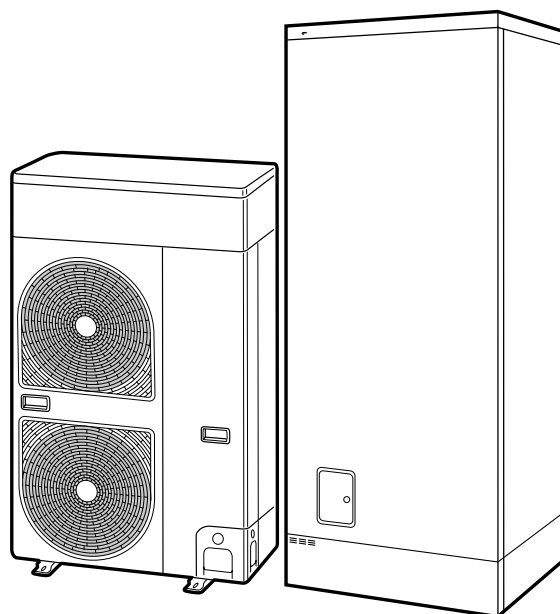
HWS-371T1 HWS-M561T1
HWS-461T1 サブ貯湯タンクユニット
HWS-561T1 HWS-S561T

ヒートポンプユニット

HWS-801H1 HWS-1401H1

リモコン

HWS-51R1



もくじ

知っておいてください	2
安全上のご注意	4
各部のなまえとはたらき	7
使いかた	12
はじめに	12
現在時刻の合わせかた	13
沸上げ設定のしかた	14
貯湯タンク湯温の表示のしかた ...	14
残湯量の見かた	15
沸増し設定のしかた	15
音量の調節のしかた	16
給湯口B温度設定について	16
凍結防止について	17
通水後お使いにならないとき	18
安全運転・お手入れのしかた	19
定期点検のおすすめ	21
エラーの表示と処理のしかた	22
このようなときには	23
部品交換のしかた	24
仕様	25
保証とアフターサービス	28

ご使用の前にお買い上げいただきました機器の形名をお確かめください。

ほっとパワーエコスーパーBIGで使用する場合はシステム制御器に付属の取扱説明書もあわせてお読みください。

このたびは東芝ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。

お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
販売店または工事店より、保証書・据付説明書を確実に受け取り、大切に保管しておいてください。

お客さまご自身では据え付けしないでください。安全や機能の確保ができません。

お願い

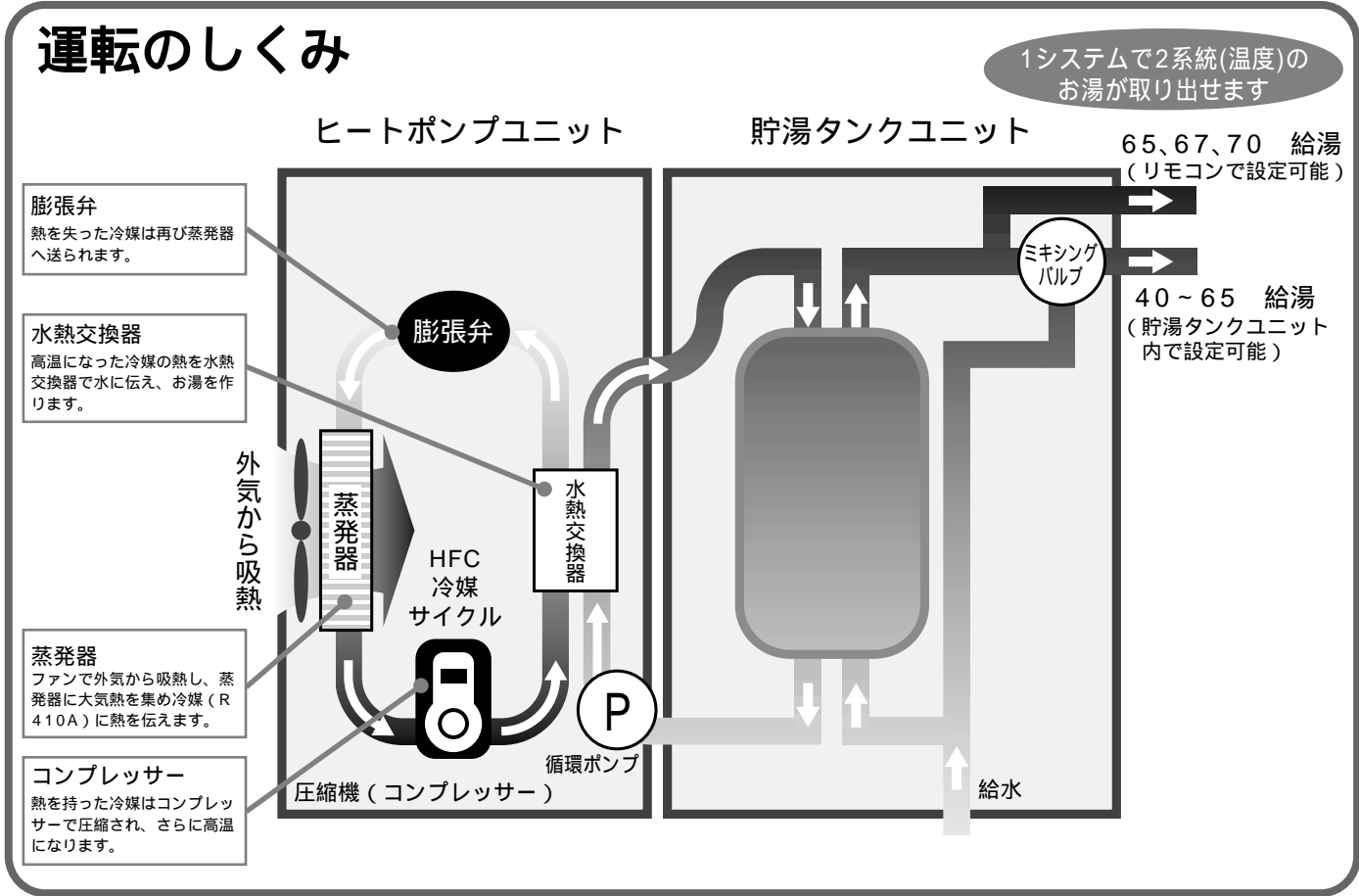
東芝ヒートポンプ給湯機は外気温が低くなると圧縮機保護、および水配管の凍結防止のため自動的に動作しますので、常時元電源、漏電遮断器を入れたままご使用ください。

日本国内専用品
Use only in Japan

知っておいてください

ヒートポンプ給湯機とは

システム構成図



ヒートポンプ給湯機は、ヒートポンプの原理でお湯を沸かし、貯湯タンクユニットに貯めておいて給湯に利用するものです。この機器は深夜電力契約では使用できません。電力会社と業務用電力契約を結びお使いください。

機器の組合せ

	地 区	貯湯タンクユニット	ヒートポンプユニット	リモコン	システム名称
1	一般地	HWS-371T1	HWS-801H1	HWS-51R1	HW801T3
2	一般地	HWS-461T1	HWS-801H1	HWS-51R1	HW801T4
3	一般地	HWS-561T1	HWS-801H1	HWS-51R1	HW801T5
4	一般地	HWS-371T1	HWS-1401H1	HWS-51R1	HW1401T3
5	一般地	HWS-461T1	HWS-1401H1	HWS-51R1	HW1401T4
6	一般地	HWS-561T1	HWS-1401H1	HWS-51R1	HW1401T5

一般地区タイプのを、寒冷地に据え付けしないでください。据え付けると凍結による故障の原因となります。タンク連結タイプをご使用の場合は、次ページ(タンク連結タイプ)を参照してください。

お願い

- この製品に使われている冷媒の種類は「HFC」です。
- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
 - この製品を修理(冷凍サイクル)又は廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。

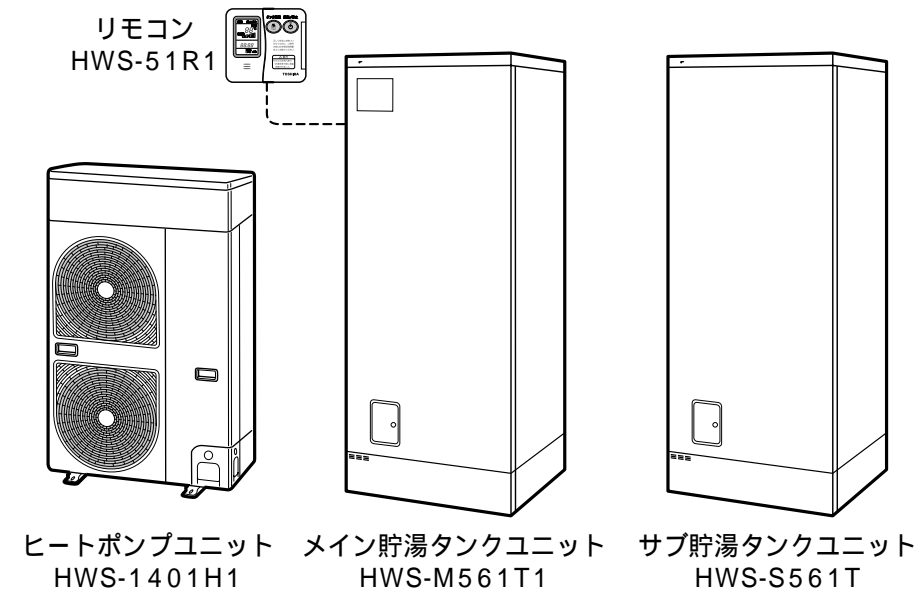
タンク連結タイプ

タンク連結タイプは、メイン貯湯タンクユニットとサブ貯湯タンクユニットを組み合わせで設置し、貯湯タンク容量を1100Lおよび1700Lにするものです。

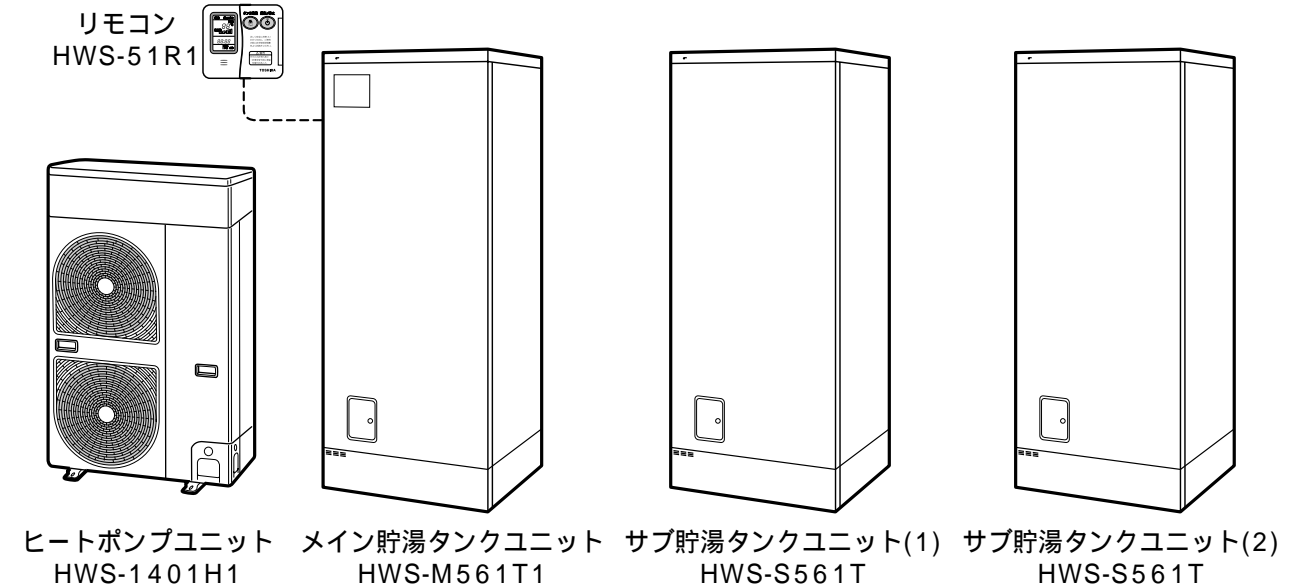
機器の組合せ

	メイン貯湯タンクユニット	サブ貯湯タンクユニット	ヒートポンプユニット	リモコン	システム名称
1	HWS-M561T1	HWS-S561T	HWS-1401H1	HWS-51R1	HW1401S11
2	HWS-M561T1	HWS-S561T HWS-S561T	HWS-1401H1	HWS-51R1	HW1401S17

HW1401S11 (1100Lシステム)








HW1401S17 (1700Lシステム)










安全上のご注意









商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。








表示の説明		図記号の説明	
表 示	表 示 の 意 味	図記号	図 記 号 の 意 味
 警告	“ 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容 ” を示します。		⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	“ 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容 ” を示します。		● は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
<small>＊１:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。 ＊２:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。 ＊３:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。</small>			△ は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

据え付け前の注意事項










 警告	
据え付け・配管・電気工事は、必ずお買い上げの販売店または工事店に依頼する ご自分で据付工事をされますと、火災・感電・水漏れの原因になります。 	改造後の使用はしない 事故・故障の原因となります。 安全点検を行ってください。 
アース棒など、別売部品も東芝品を使用する 純正以外の部品を使うと、事故・故障の原因になります。 	
 注意	
水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用する 適合しない水で使うと故障・水漏れの原因になります。 	
 上水道	




据え付け後の注意事項

 警告	
アース工事がされているか確認する 故障や漏電のときに感電の原因になります。 アースの取り付けは販売店にご相談ください。 	機器の近くにガス類や引火物が置かれていないことを確認する 発火の原因になります。 
 注意	
貯湯タンクユニットが屋内に設置されていないことを確認する 万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能傷害など）に至ることがあります。 	
 注意	
貯湯タンクユニットを施設する床面が排水処理されているか確認する 水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。 	脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する 地震などが発生した場合、本体が倒れてけがをすることがあります。 

 注意	
凍結防止対策を確認する 配管が破損してやけどをすることがあります。 	機器・リモコンが浴室など湿気の多いところに 取り付けられていないことを確認する 火災・感電の原因になります。 
リモコンが直射日光の当たるところ、屋外やガステーブルの上部など高温になるところに取り付けられていないことを確認する 変色、変形、火災の原因になります。 	ヒートポンプユニットが隣家に配慮した場所に設置されていることを確認する 運転音や振動が伝わり隣家に被害を与える場合があります。 
ヒートポンプユニットがキッチンの換気扇の近くに設置されていないことを確認する 油分の付着や排気により、性能低下や故障の原因になります。 	
 施行確認	

使用上の注意事項

 警告	
機器の近くにガス類や引火物を置かない 発火の原因になります。 	貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットの 前面カバーは開けない 感電の原因になります。 
給湯・排水時は熱湯が出るおそれがあります。 やけどに注意する 給湯せんを開いた直後は水が出ますがすぐに熱湯に変わります。 	給湯時は給湯せん本体に手を触れない やけどをすることがあります。朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。 給湯せんは少しずつ開いてください。 
ヒートポンプ配管および接続口には手を触れない やけどをすることがあります。 	ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンには 手を触れない けがをすることがあります。 
ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない 内部でファンが回転していますので、けがをすることがあります。 	
 禁 止	

 注意	
そのまま飲用しない 長期間のご使用によって貯湯タンクユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。 飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。 ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。 ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。 ・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。 	
 沸騰後飲用	

積雪時には除雪する 誤作動や故障の原因になります。 	 除 雪
--	---

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意	
本体の上に乗ったり、配管に力を加えない 本体が転倒したり、配管が破損してやけどなどの 事故の原因になります。とくに、幼児・子供に注意 してください。	ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げに なるものを置かない 通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。
禁 止	禁 止

点検・お手入れの注意事項

⚠ 警告	
元電源の漏電遮断器の動作を確認する 漏電遮断器が故障のまま使用すると、 漏電のときに感電の原因になります。	逃し弁の点検時には逃し弁や排水管に手を 触れない やけどをすることがあります。
動作点検	手をふれない

⚠ 注意	
逃し弁を点検する 点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破損したり 逃し弁から水漏れしたりすることがあります。	貯湯タンクユニットの熱湯は直接排水しない やけどをすることがあります。水で薄めてから流して ください。またはお湯を使いきってから排水してくだ さい。
動作点検	熱湯排水禁止
1ヵ月以上使用しないときは元電源の漏電遮断器 を「切」にして貯湯タンクユニットの排水をする 水質が変化することがあります。	水漏れを点検する とくに漏水が階下へ被害を与える場所への設置の 場合は日常点検してください。
水抜き	漏水点検

修理・譲渡などの注意事項

⚠ 警告	
修理技術者以外の人には絶対に分解したり修理・改造は行なわない 発火したり異常動作してけがをすることがあります。	分解禁止

⚠ 注意	
このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い 方を知るために、この取扱説明書と別冊の据付説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください。	説明書添付

異常時の注意事項

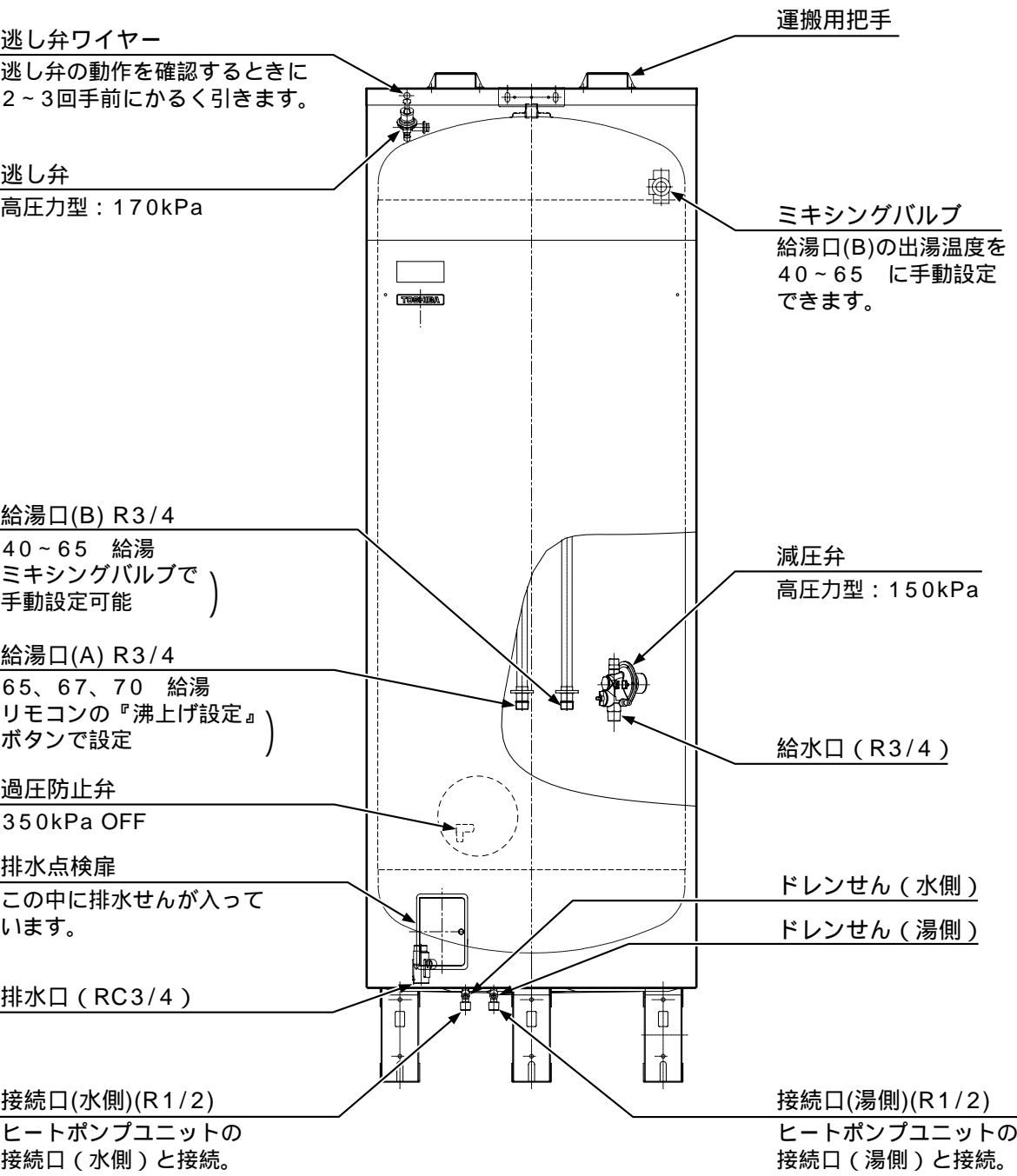
⚠ 警告	
異常時（こげ臭い、過圧防止弁からの水漏れなど）は、元電源の漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にし て、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターへ連絡する 異常のまま使用されますと、故障や感電・火災の原因になります。	電源を切る

各部のなまえとはたらき

この機器は主にお湯の使用量に応じて自動的にお湯を沸かし、貯湯タンクユニットに貯めておいて必要なときに利用するもの
です。
アースは、万一漏電した場合、電気を大地に逃がすため、機器のアース端子と地中に埋設されたアース棒または、家屋に取り
付けられたアース端子を、アース線で接続することにより構成されます。
貯湯タンクユニットに「安全上のご注意ラベル」が貼り付けてありますのでお読みいただき、確認してください。

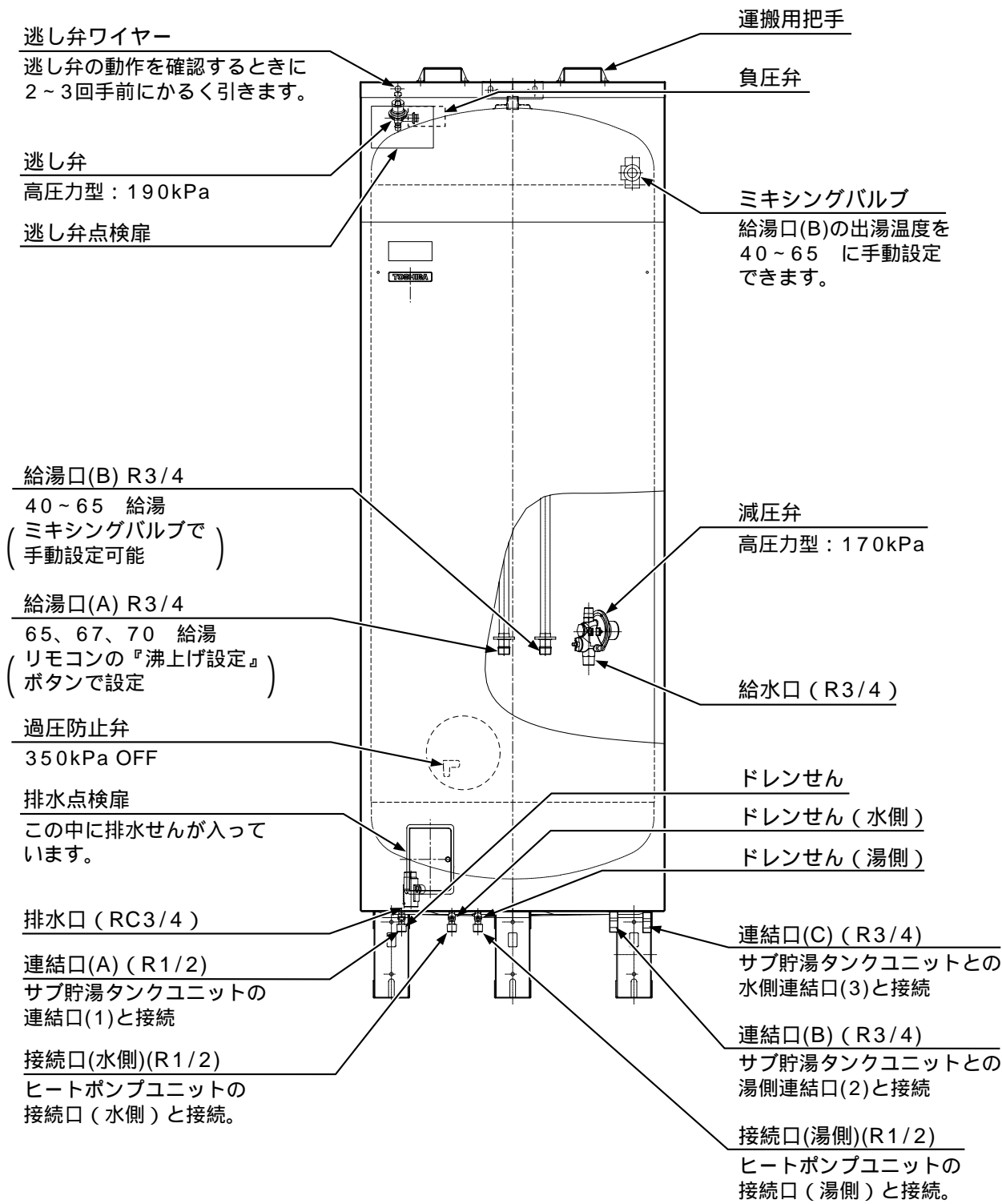
貯湯タンクユニット

HWS-371T1
HWS-461T1
HWS-561T1

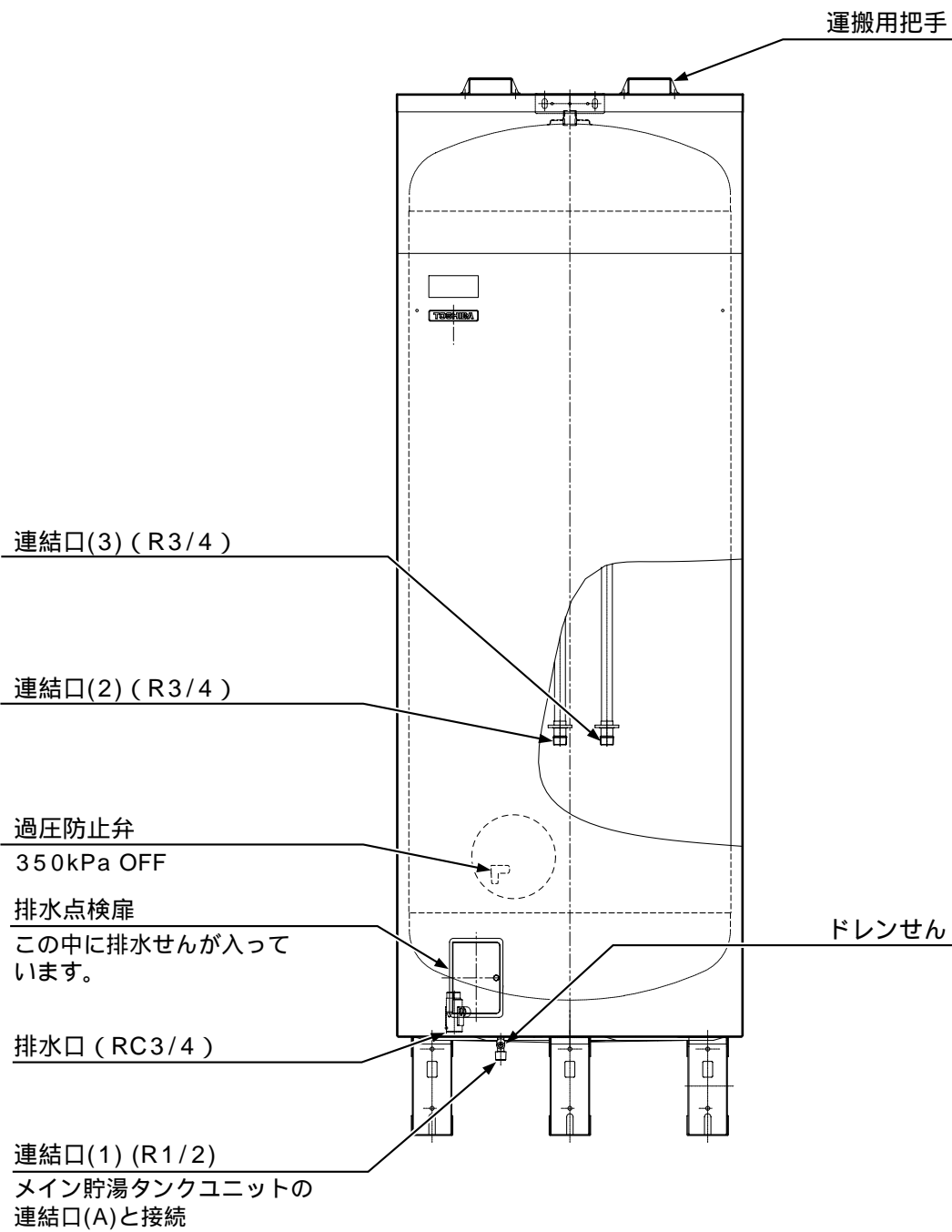


各部のなまえとはたらき (つづき)

メイン貯湯タンクユニット (HWS-M561T1)



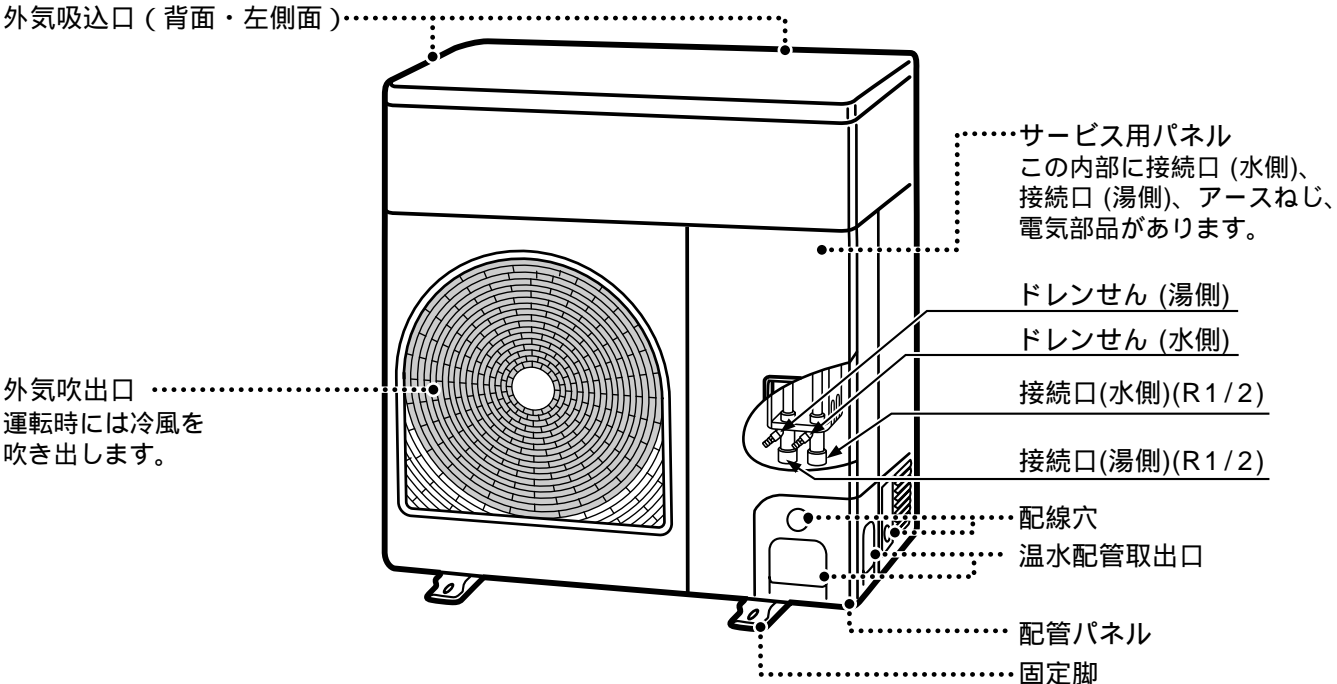
サブ貯湯タンクユニット (HWS-S561T)



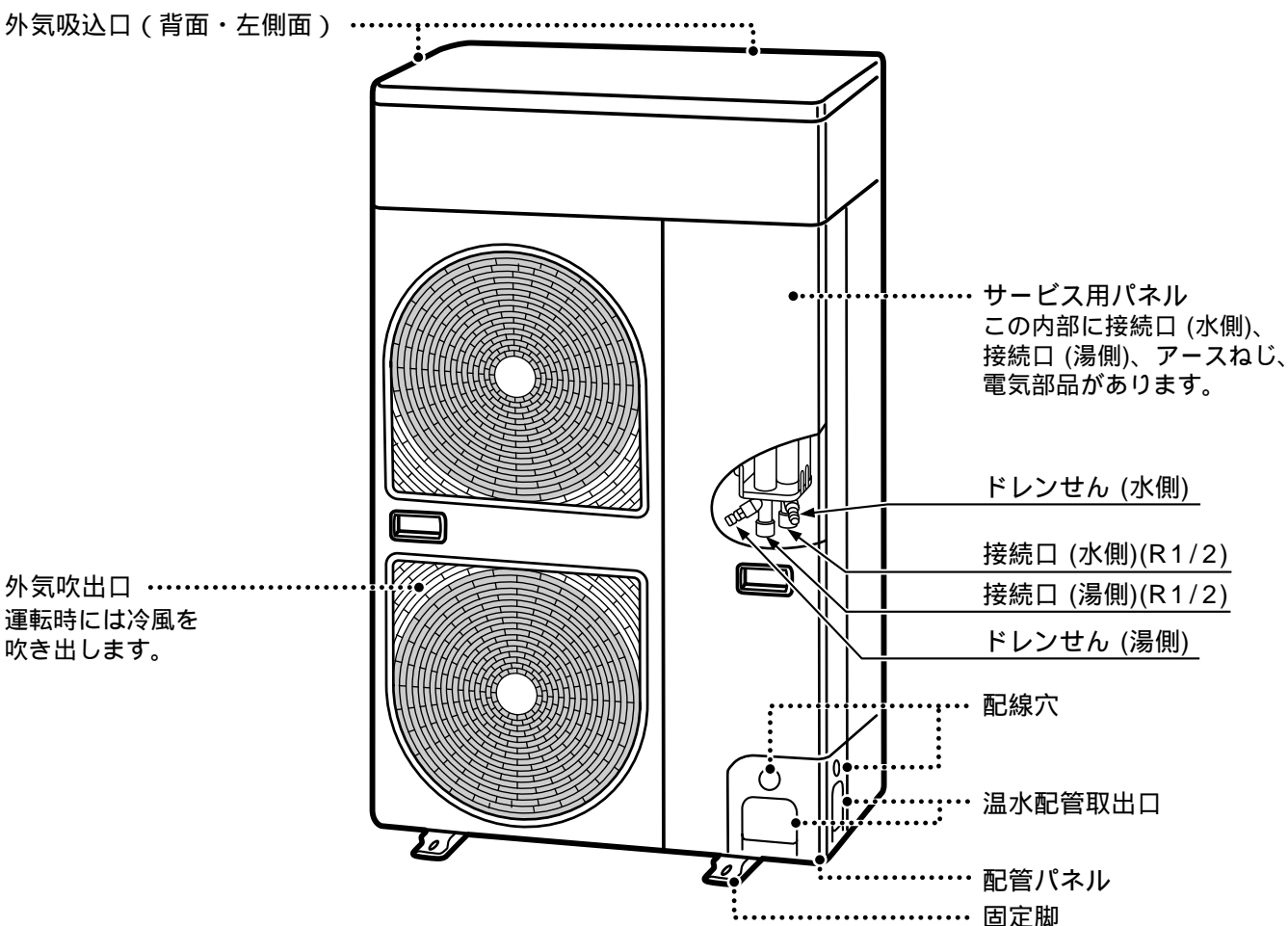
各部のなまえとはたらき (つづき)

ヒートポンプユニット

HWS-801H1

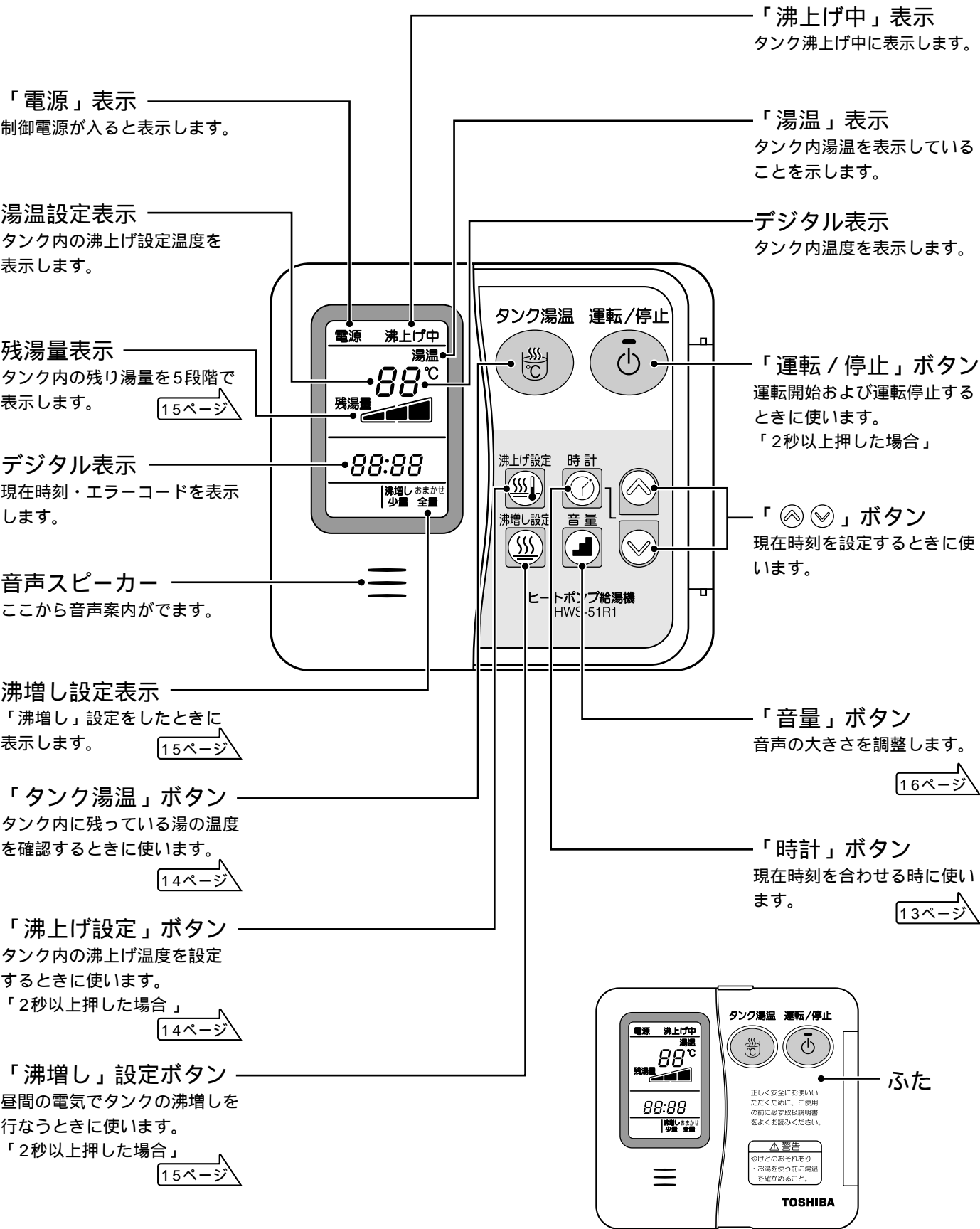


HWS-1401H1



リモコン

イラストはふたが開いた状態です。
液晶の表示は全表示している状態です。



使いかた

はじめに

⚠ 警告

機器の近くにガス類や引火物を置かない
発火の原因になります。



禁止

貯湯タンクユニットが満水になっていることを
確認してから通電する
満水にしないで通電すると負圧により貯
湯タンクユニットが破損し、やけどのお
それや水漏れの原因になります。



満水確認

⚠ 注意

そのまま飲用しない
長期間のご使用によって貯湯タンクユニット内に水あ
かがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が
変わることがあります。飲用される場合は、下記の点
に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからに
してください。
・必ず水質基準に適した水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまってい
る水）は、雑用水としてお使いください。
固形物や変色、濁り、異臭があった場合に
は、飲用せずに、直ちに点検の依頼を行な
ってください。



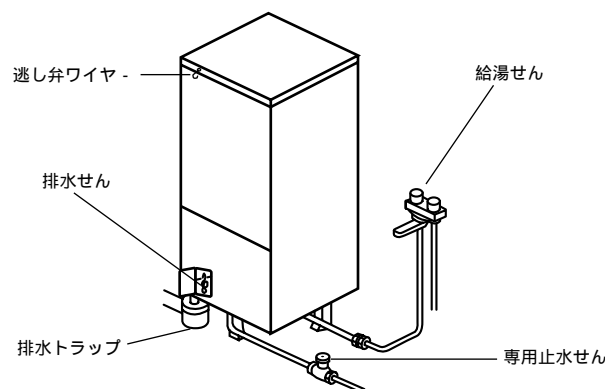
沸騰後飲用

貯湯タンクユニットへの給水のしかた

最初は、貯湯タンクユニットや配管内のゴミ・油などを洗い
流すため、給水したら一度、全部排水し、再び給水してくだ
さい。

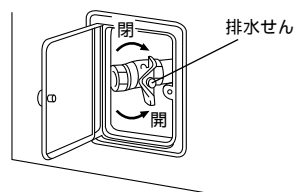
1. 最初の給水のしかた

給湯せん、専用止水せんを開きます。
約20～40分で給湯せんから水が出てきます。



2. 排水のしかた

- (1) 専用止水せんを閉じます。
- (2) 給湯せん・排水せんを開きます。
- (3) 約40分～50分で水が抜けます。（排水できないとき
は、逃し弁ワイヤーを引いて逃し弁を開けてくださ
い。）



3. 再給水のしかた

- (1) 排水せんを閉じます。
- (2) 専用止水せんを開きます。
- (3) 給湯せんから水が出てきたら給湯せんを閉じます。
- (4) ヒートポンプユニットの接続口（湯側）のドレンセ
ンを開き、水が連続して出ることを確認します。（配
管内のエア抜きをします。）
- (5) ヒートポンプユニットの接続口（湯側）のドレンセ
ンを閉じます。

運転のしかた

通電は、必ず貯湯タンクユニットに満水にしてから行なっ
てください。

1. 電源の入れかた

元電源の漏電遮断器のレバーを「入」にします。

2. 現在時刻を合わせます

リモコンの現在時刻を合わせます。

13ページ

3. 「運転/停止」ボタンを押し、運転を開始 します。

現在時刻の合わせかた

必ず現在時刻の設定をしてください。

誤った時刻を設定すると、湯量が不足したり思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてくだ
さい。

時刻は24時間表示です。

次の手順に従って現在時刻を合わせてください。

例) 13時45分に合わせることで説明します。

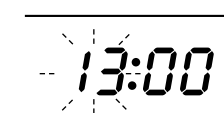
設定手順

1. 漏電遮断器のレバーを「入」にします
（左図のように表示されます）

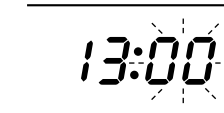
2. 『時計』ボタンを押します
12が点滅します。



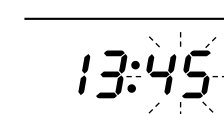
3. 『⌚』ボタンを押して、13時に合わせます
「⌚」ボタンを押すと1時間ずつ数字が進みます。「⌚」
ボタンを押すと1時間ずつ数字が戻ります。



4. 『時計』ボタンを押します
デジタル表示部の00が点滅します。



5. 『⌚』ボタンを押して45分に合わせます
「⌚」ボタンを押すと1分間ずつ数字が進みます。「⌚」
ボタンを押すと1分間ずつ数字が戻ります。



6. 『時計』ボタンを押します
ボタンを押すと時刻が決定します。

7. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

お願い

2時間以上の停電があると、現在時刻がリセットさ
れます。この時は、設定手順に従って現在時刻の設
定を行なってください。
ときどき現在時刻表示を確かめてください。時刻の
ズレがあると電気料金が割高になることがあります。

使いかた(つづき)

解除の方法
「沸増し設定」ボタンを押して表示を消灯します。

こんなとき	少量のお湯をご使用の場合	多量のお湯をご使用の場合	夜間にお湯を貯め、昼間に湯切れの心配をしないでお湯を使いたいとき	
項目	少 量	全 量	おまかせ	
沸増しのしかた				
沸増しの条件	残湯量が約30%未満になると残湯量が約70%まで沸増しを行ないます。	残湯量が約70%未満になると全量沸増しを行ないます。	夜10時から朝8時までは少量のお湯が使われたら沸増しをはじめ、朝8時までにタンクをお湯で満タンにします。	朝8時から夜10時までは常に残湯量が30%以上になるように沸増しを行ないます。
解 除 の 方 法	「沸増し」ボタンを押して沸増しの表示を消灯させる			
備 考	沸増しを解除しないかぎり、継続して沸増しを行なう			

沸増しの条件についてはタンク連結タイプの1100Lシステム、1700Lシステムの場合も上記内容と同等です。

音量の調節のしかた

音声案内の音量を調節したいときに使用します。
音量の調節は、音声案内中以外であればいつでも行なえます。

タンク湯温 運転/停止

沸上げ設定 時計

沸増し設定 音量

ヒートポンプ給湯機 HWS-51R1

設定手順

1. 『音量』ボタンを押します
ボタンを押すごとに声の大きさを音声でご案内します。

音量 ↑ 『音声』は標準です。
↓ 『音声』は最大です。
↓ 『音声』は最小です。

(音量調節を知らせる音声は変わりません。)

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

給湯口B温度設定について

ヒートポンプ給湯機は1システムで2系統(温度)のお湯が取り出せます。
給湯口Bの温度は出荷時『45』に設定されています。貯湯タンクユニット内のミキシングバルブを調整することにより40～65に手動設定が可能です。
手動設定が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

凍結防止について

1. ヒートポンプユニット配管の凍結防止

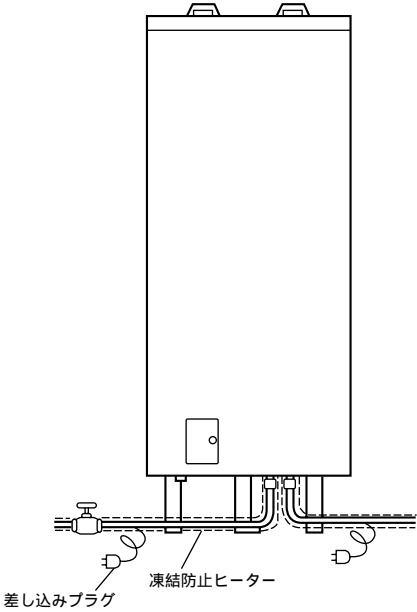
外気温が下がると、循環ポンプが運転します。さらに温度が下がるとヒートポンプユニットを自動的に運転して、ヒートポンプユニット配管の凍結を防止します。

2. 凍結防止ヒーターによる方法

気温が0 以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので、据付説明書どおりの配管工事をしてください。
水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100Vのコンセントに差し込んでください。暖かくなりましたら、プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

電源は「入」のままにしてください。通電していないと凍結防止のための運転ができません。



3. 排水・水抜きによる凍結防止

外気温が凍結温度まで下がるような時期に数日間お使いにならないときには次の「通水後お使いにならないとき」に従って排水・水抜きを行なってください。

通水後お使いにならないとき

通水確認後や使用開始後、一ヵ月以上お使いにならないときには、下記の方法にしたがって対応してください。

対応方法

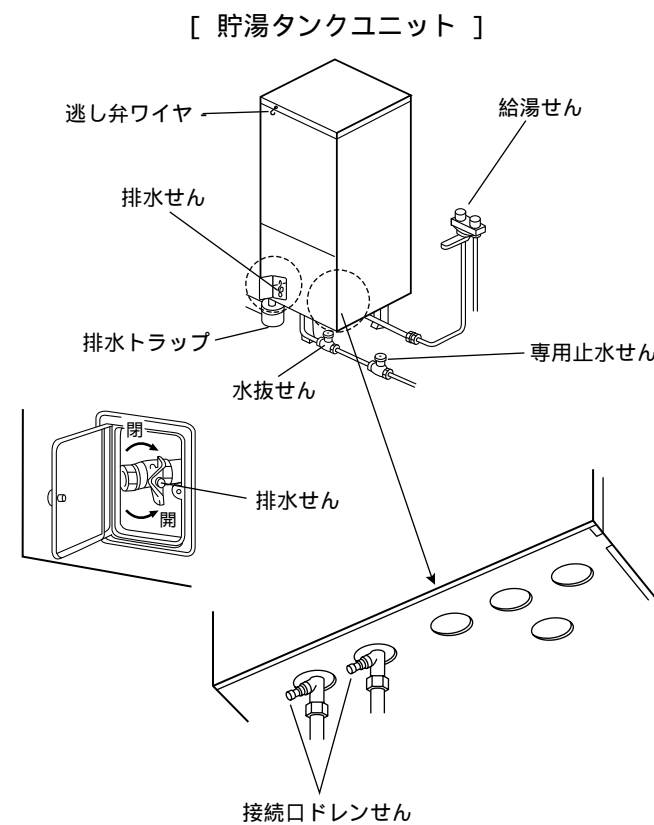
お使いにならないときには、次の手順で各部の排水および水抜きを行なってください。
タンクの水は変質するおそれがありますので、必ずすべて排水してください。
各部の排水および水抜きを行なってください。

排水・水抜き方法

元電源の漏電遮断器のレバーを『切』にします。
専用止水せんを開じます。
給湯せん、給水側の水抜きせん、貯湯タンクユニット内の排水せんを開きます。
約40分～50分で水が抜けます。(排水できないときは、逃し弁ワイヤーを引いて逃がし弁を開けてください)
接続口ドレンせんを開きます。
各部の水抜きが終了したら給湯せん、貯湯タンクユニット内の排水せん・給水側の水抜きせん・接続口ドレンせんを閉じます。
専用止水せんは閉じたままとしてください。
各部の水抜きが完了したら、漏電遮断器のレバーを『切』のまま、次にご使用になるまで通電しないでください。

再び使用するとき

給湯せん、専用止水せんを開きます。
給湯せんから水が出てきたら給湯せんを閉めます。



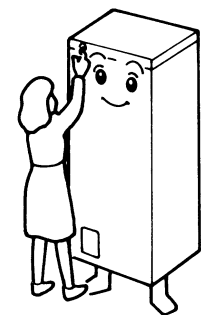
安全点検・お手入れのしかた

事故を防止するために下記の安全点検を必ず行なってください。

注意

逃し弁を点検する
点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破損したり逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

動作点検



安全点検

1 元電源の漏電遮断器の動作確認

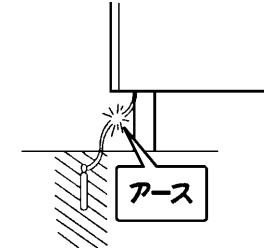
警告

漏電遮断器の動作を確認する
漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のとき感電の原因になります。

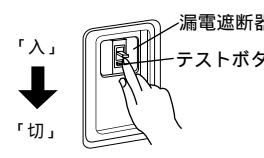
動作点検

漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。
年に2～3回は、漏電遮断器の動作確認を次のように行なってください。

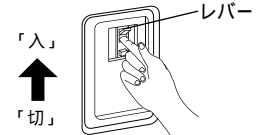
(1)アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。



(2)テストボタンを押してください。
漏電遮断器のレバーが「切」(OFF)になれば、正常です。



(3)テストのあとは、必ずレバーを「入」(ON)にもどしてください。



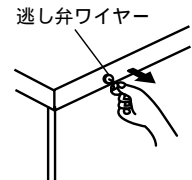
2 逃し弁の動作確認

警告

逃し弁点検時は、排水管に手を触れないやけどをすることがあります。

手をふれない

年に2～3回は、逃し弁ワイヤーを2～3回引いて動作をチェックしてください。
ワイヤーを引いたとき排水し、戻したとき排水が止まれば正常です。(排水が確認できないときは水の音で排水されたことを確認してください)



逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因となります。
逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、貯湯タンクユニットを守る安全装置です。
逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水漏れや故障の原因になります。

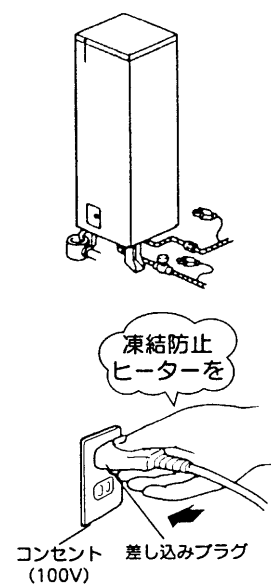
3 準寒冷地では凍結防止

注意

凍結防止対策を確認する
配管が破損してやけどをすることがあります。

施工確認

気温が0 以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので据付説明書に従い、凍結防止をしてください。
水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを、100Vのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



安全点検・お手入れのしかた(つづき)

4 水漏れの点検

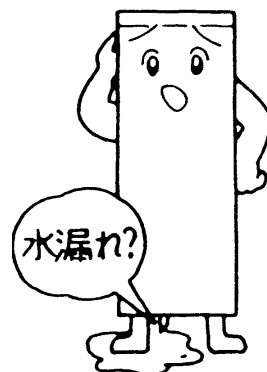
⚠ 注意

水漏れを点検

配管接続部、水拔せん、専用止水せんから水が漏れていないか日常確認してください。



貯湯タンクユニットを設置した床面に水が漏れていないか確認してください。



お手入れのしかた

1 ストレーナーの掃除

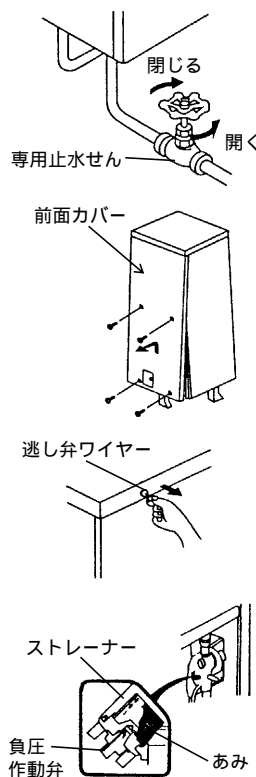
販売店に依頼して掃除を行なってください。

お湯および水の出が悪くなったときは、減圧弁のストレーナーの掃除が必要です。

ストレーナーの掃除を行なうときは次の手順に従って行なってください。

《手順》

- (1)専用止水せんを閉じます。
- (2)元電源の漏電遮断器を「切」にします。
- (3)前面カバーのねじ4本をはずし、前面カバーを取りはずします。
- (4)逃し弁ワイヤーを約1分間引きタンク内の圧力を抜きます。
- (5)減圧弁のストレーナーをはずし、あみを掃除します。(水を流しながらブラシなどでよく洗います。)この時、配管内に残っている残水が出てきますのでヒーターやその周辺のコネクターなどに湯(水)がかからないように注意してください。
- (6)ストレーナーを組み付け、専用止水せんを開きます。水漏れがない事を確認してから前面カバーを取り付けてください。



2 お使いにならないとき

長期間お使いにならないとき

⚠ 注意

1ヵ月以上使用しないときは元電源の漏電遮断器を「切」にして貯湯タンクユニットの排水をする水質が変化することがあります。



貯湯タンクユニット内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、貯湯タンクユニット内のお湯を使いきった後、水になってから排水してください。
「排水のしかた」は12ページをご覧ください。
再びご使用になるときは、12ページの「給水のしかた」によりタンクが満水になったことを確かめてから、通電準備をしてください。
翌日、ご使用になるときは、給湯せんから最初配管内の空気と蒸気が出ますので、やけどに注意してください。

3 タンク内の清掃

⚠ 注意

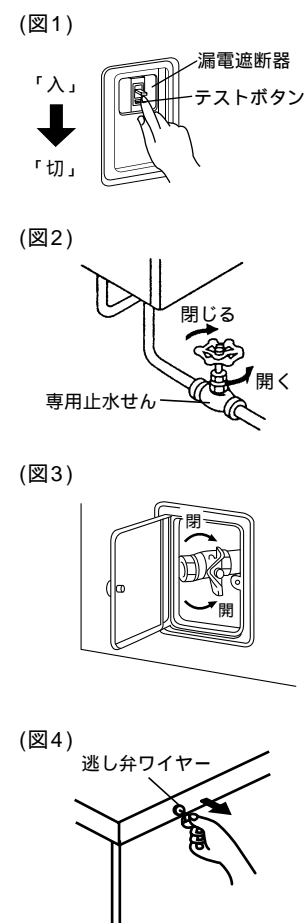
タンクの熱湯排水は直接しないやけどをすることがあります。



使用しているうちに水あかや沈殿物がタンクの底にたまりまます。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず年に2～3回は次の手順で排水口から水あかなどを出してください。タンク内の清掃をするときは、約10分間程度、給湯をした後に行なってください。(タンク下部に給水されることにより排水口から熱湯が出ることを防ぎます。)

《手順》

- (1)元電源の漏電遮断器のレバーを「切」にします。(図1)
- (2)専用止水せんを閉じます。(図2)
- (3)排水点検扉をあけ、排水せんを開きます。(図3)
- (4)逃し弁ワイヤーを約2分間引きまます。(図4)
- (5)汚れた水がきれいなお水にかわったら排水せんを閉じ、排水点検扉を閉めます。(図3)
- (6)排水が終わりましたら専用止水せんを開きます。(図2)
- (7)排水口に水が出てくるまで逃し弁ワイヤーを引きまます。(見えないときは音で確認してください)(図4)
- (8)元電源の漏電遮断器のレバーを「入」にします。

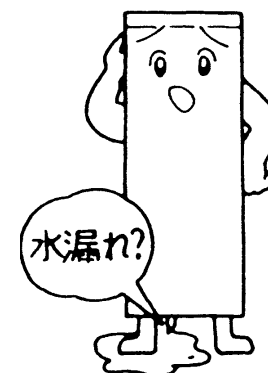


4 断水、近くで水道工事が行なわれるとき

工事が行なわれる前に専用止水せんを閉じてください。濁った水が減圧弁のストレーナーに目詰まりし湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
解除されたら専用止水せんおよび給水せんを開いて、水がきれいになったのを確かめてから機器を使用してください。

5 過圧防止弁について

過圧防止弁排水口より水(または湯)が漏れている場合は、配管システムまたは機器に異常があります。
元電源の漏電遮断器のレバーを「切」にし、専用止水せんを閉じてお使いになるのをやめてください。お買い上げの販売店に連絡をして修理を受けてください。



6 リモコンの掃除のしかた

リモコンの表面が汚れたときは水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないでください。
洗剤およびシンナー・ベンジンなどは使用しないでください。

定期点検のおすすめ

機器を長期間安心してお使いいただくために、専門の技術者がお客様に代わって細かく定期点検、部品の交換(有料)をいたします。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

エラーの表示と処理のしかた

リモコンに表示されます。

この機器には異常時の自己診断機能があります。異常発生時には、ブザー音「ピー・ピー…」が鳴り続けます。また、現在時刻表示部にエラーコードの表示が出ます。下の表に基づいて点検およびお買い上げの販売店に修理の依頼を行なってください。

		故障でもお湯を沸かせる（：できる、×：できない）		エラー手動解除できる（：できる、×：できない）	
表 示	原 因	故障箇所	タンク沸上げ	エラー解除	対 処 方 法
E: 1	サーミスタ故障	残湯80％センサ		×	センサ断線・短絡確認、配線点検
E: 2	サーミスタ故障	残湯70％センサ		×	センサ断線・短絡確認、配線点検
E: 3	サーミスタ故障	残湯30％センサ		×	センサ断線・短絡確認、配線点検
E: 4	サーミスタ故障	残湯10％センサ		×	センサ断線・短絡確認、配線点検
E: 5	TD温度異常	冷媒不足	×	×	冷媒量確認
E: 7	除霜凍結異常	水熱交換器		×	残湯量確認、湯使用量確認
E: 8	循環ポンプ異常	循環ポンプ		×	循環ポンプ動作確認、配線点検
E: 9	通信異常	リモコンと貯湯タンクユニット間通信		×	リモコン基板、タンク基板、配線点検
E: 10	サーミスタ故障	水温湯温センサ		×	センサ断線・短絡確認、配線点検
E: 17	除霜凍結警報	水熱交換器	×		残湯量確認、湯使用量確認
E: 18	通信異常	ヒートポンプユニットと貯湯タンクユニット間通信	×	×	給湯CDB基板、タンク基板、配線点検
E: 19	G-Tr短絡保護	ヒートポンプユニット制御器	×	×	サイクル基板点検
E: 20	加熱運転異常、TC温度異常	水熱交制御器	×	×	水循環量確認、循環ポンプ点検
E: 21	検出回路異常	ヒートポンプユニット制御器	×	×	サイクル基板点検
E: 22	電流センサ異常、欠相検出	ヒートポンプユニット制御器	×	×	サイクル基板点検
E: 23	TE・TSセンサ異常	ヒートポンプユニットの熱交、吸込温度センサ	×	×	センサ断線・短絡確認、配線点検
E: 24	TDセンサ異常	ヒートポンプユニットの吐出温度センサ	×	×	センサ断線・短絡確認、配線点検
E: 25	DC外ファン異常	DC外ファン	×	×	DC外ファン、配線点検
E: 26	TCセンサ異常	ヒートポンプユニットの水熱交温度センサ	×	×	センサ断線・短絡確認、配線点検
E: 27	Tinセンサ異常、IPDU間通信異常	ヒートポンプユニット制御器	×	×	サイクル基板点検
E: 28	圧縮機ロック異常	圧縮機	×	×	圧縮機、冷凍サイクル点検
E: 29	吐出温度異常	冷媒不足	×	×	冷媒量確認
E: 30	圧縮機ブレークダウン	圧縮機	×	×	圧縮機、冷凍サイクル点検
E: 31	通信異常	給湯CDBとサイクル用基板間通信	×	×	給湯CDB基板、サイクル基板、配線点検
E: 32	TWoセンサ異常	ヒートポンプユニットの湯出口温度センサ	×	×	センサ断線・短絡確認、配線点検
H: 0	湯切れ警報	貯湯タンクユニット			残湯量確認、湯使用量確認
H: 9	TOセンサ異常	ヒートポンプユニットの外気温度センサ		×	センサ断線・短絡確認、配線点検
H: 12	TWiセンサ異常	ヒートポンプユニットの水入口温度センサ		×	センサ断線・短絡確認、配線点検
H: 15	電動三方弁（右）異常	電動三方弁（右）	×		電動三方弁（右）、配線点検
H: 16	電動三方弁（左）異常	電動三方弁（左）	×		電動三方弁（左）、配線点検
E: HL	タンク水位異常	貯湯タンクユニット	×		残湯センサ、水温湯温センサ取付確認
E: HC	タンク温度異常	貯湯タンクユニット	×		残湯センサ、水温湯温センサ取付確認

異常発生時のブザー音の停止方法

操作手順

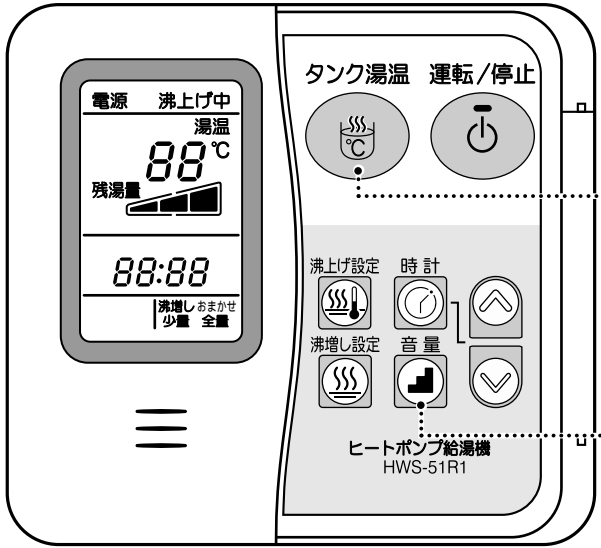
1. 『音量』ボタンを押します
ブザー音が停止します。
2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

エラー解除のしかた

リモコンの表示部にエラー表示した際には手順に従って解除してください。
エラーには、解除できるものとできないものがあります。『エラーの表示と処理のしかた』をご覧ください。

操作手順

1. 『タンク湯温』ボタンを3秒間押し続けます
ボタンを長押しするとエラーの表示が消灯し、現在時刻に戻ります。
2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます



このようなときには

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

症 状	点 検 す る と こ ろ	対 処 方 法
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	給水圧が低い不是吗。	水圧の確認を水道局へ依頼する。 閉じていたら、開いてください。
	専用止水せんは開いていますか。	水道局へ問い合わせてください。 (断水が終わるまで待ってください)
	断水ではありませんか。	20ページの「ストレーナ - の掃除」により お手入を依頼してください。
	減圧弁のストレーナ - 部がつまっていますか。	お買い上げの販売店にご相談ください。
お湯が沸かない。	配管部分が凍結していませんか。	「切(OFF)」になっているときは、 「入(ON)」にしてください。 2度、3度と「切(OFF)」になる場合は 故障のおそれがありますので、お買い 上げの販売店にご相談ください。
	漏電遮断器のレバーが「切(OFF)」 になっていませんか。	
	お湯がぬるい。 お湯が足りない。	上のランクへ切り替えてください。 (例えば <input type="text" value="65"/> <input type="text" value="70"/>)
	深夜時間帯にお湯をたくさん使用し ませんでしたか。	沸増し設定をして沸増ししてください。
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	いつもにくらべてお湯をたくさん使 用しませんでしたか。	
	タンク内の水温が高くありませんか。	水温がいちじるしく高い場合には設定温 度まで沸上げることができません。
	逃し弁の逃し管から常時お湯が流れ ていませんか。 〔沸増し中は常時逃し管から〕 膨張水が排水されます。〕	19ページの「逃し弁の動作確認」により、 逃し弁の動作確認をしてください。 お湯が止まらないときは、逃し弁を交換 してください。
	濁ったお湯が出る。	近くで断水や水道工事はありませ んでしたか。
ヒートポンプユニットが 運転 / 停止を繰り返す。	タンク内の掃除をしていますか。	水がきれいになったのを確認してからお 使いください。 21ページの「断水・近くで水道工事が行 なわれるとき」をご覧ください。
		21ページの「タンク内の清掃」により、 タンク内の掃除をしてください。
	排水口からお湯が出てい る。	沸上げ運転時は、貯湯タンクユニッ ト内の水の温度が上昇し膨張します。 この膨張分が逃し弁から排水されます。
	沸上げ運転中、ヒートポ ンプユニットの蒸発器が 霜で白くなる	冬期運転中は蒸発器に霜がつくこと があります。
沸上げ運転中、ヒートポ ンプユニットのドレン口 から水が出る。		ヒートポンプユニットが大気から熱を 吸収するときに、結露した水が出てき ます。

部品交換のしかた

部品交換について

部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店に依頼してください。

部品交換の際は、必ず東芝の専用補修部品をお使いください。専用以外の部品を使用して、万一故障や事故が発生した場合は、弊社は責任を負いかねます。

消耗、劣化しやすい部品

項 目	内 容
使用時間により交換が必要な部品	循環ポンプ、ゴムホース、減圧弁、逃し弁
地下水の使用により劣化しやすい部品	水熱交換器、ゴムホース、減圧弁、逃し弁
特殊な環境により交換が必要な部品	電気接点部品、水熱交換器、減圧弁、逃し弁

循環ポンプ、ゴムホースは、性能を維持するために約3年毎をめやすに点検整備（有料）をおすすめします。
点検については、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

システム名称	種類（設置区分）		屋外型（防雨形）		
	相数		三相		
	定格電圧		200V		
	定格周波数		50Hz / 60Hz		
	電 源 設 計	漏電遮断器		20A	
		電源配線	20m以下	燃線2mm ²	
			50m以下	燃線8mm ²	
	最大電流		15A		
	沸上げ温度		65、67、70		
	用途		業務用給湯		
貯湯タンクユニット	形名		HWS-371T1	HWS-461T1	HWS-561T1
	タンク容量		370L	460L	560L
	消費電力	制御	15W		
		凍結防止ヒータ	20W		
	質量（満水時）		69kg（439kg）	78kg（538kg）	88kg（648kg）
	形状		角形配管内蔵（減圧弁・逃し弁）		
	外形寸法	幅(mm)	700	700	700
		奥行(mm)	700	800	800
		高さ(mm)	1800	1800	2100
	安全装置		過圧防止弁、逃し弁		
	配管口径		給水・給湯：R3 / 4（オネジ）排水：Rc3 / 4（メネジ）・接続口（水側）、（湯側）：R1 / 2（オネジ）		
	配管方式		直結方式（減圧弁設定圧力：150kPa）		
	最高使用圧力		170kPa		
リモコン	形名		HWS-51R1		
	外形寸法(幅×奥行×高さ)(mm)		137×25×126		
	操作		タンク湯温調節・タンク沸増し・タンク湯温・現在時刻合わせ・音量調節		
	表示		電源・沸上げ中・タンク湯温表示 残湯量・現在時刻・エラーコード・沸上げ温度設定・沸増し（少量・全量・おまかせ）		
ヒートポンプユニット	形名		HWS-801H1		
	外形寸法		幅900×奥行320×高さ1030		
	質量		79kg		
	ポンプ		DC280V-70W		
	定格加熱能力	1 2	8.0kW		
	定格消費電力	2	1.90kW		
	夏期加熱能力	1 3	8.0kW		
	夏期消費電力	3	1.65kW		
	冬期高温加熱能力	1 4	8.0kW		
	冬期高温消費電力	4	2.30kW		
	運転音	5	43dB（定格時）		
	圧縮機電動機出力		1.4kW		
	送風用電動機出力		60W		
	冷媒名（封入量）		R410A（1.7kg）		
	設計圧力		4.15MPa		

- 1 沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
- 2 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿度温度）16 / 12、水温17、沸上げ温度65
- 3 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿度温度）25 / 21、水温24、沸上げ温度65
- 4 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿度温度）7 / 6、水温9、沸上げ温度70
- 5 定格条件下での測定

仕様(つづき)

システム名称	HW1401T3		HW1401T4		HW1401T5			
	種類（設置区分）		屋外型（防雨形）					
	相数		三相					
	定格電圧		200V					
	定格周波数		50Hz / 60Hz					
	電源設計	漏電遮断器		30A				
		電源配線	20m以下	燃線5.5mm ²				
			50m以下	燃線14mm ²				
	最大電流		20A					
	沸上げ温度		65　、 67　、 70					
用途		業務用給湯						
貯湯タンクユニット	形名		HWS-371T1		HWS-461T1		HWS-561T1	
	タンク容量		370L		460L		560L	
	消費電力	制御	15W					
		凍結防止ヒータ	20W					
	質量（満水時）		69kg（ 439kg ）		78kg（ 538kg ）		88kg（ 648kg ）	
	形状		角形配管内蔵（減圧弁・逃し弁）					
	外形寸法	幅(mm)	700		700		700	
		奥行(mm)	700		800		800	
		高さ(mm)	1800		1800		2100	
	安全装置		過圧防止弁、逃し弁					
	配管口径		給水・給湯：R3 / 4（オネジ）排水：Rc3 / 4（メネジ）・接続口（水側）、（湯側）：R1 / 2（オネジ）					
	配管方式		直結方式（減圧弁設定圧力：150kPa）					
最高使用圧力		170kPa						
リモコン	形名		HWS-51R1					
	外形寸法(幅×奥行×高さ)(mm)		137×25×126					
	操作		タンク湯温調節・タンク沸増し・タンク湯温・現在時刻合わせ・音量調節					
	表示		電源・沸上げ中・タンク湯温表示 残湯量・現在時刻・エラーコード・沸上げ温度設定・沸増し（少量・全量・おまかせ）					
ヒートポンプユニット	形名		HWS-1401H1					
	外形寸法		幅900×奥行320×高さ1575					
	質量		120kg					
	ポンプ		DC280V-70W					
	定格加熱能力	1　2	14.0kW					
	定格消費電力	2	3.14kW					
	夏期加熱能力	1　3	14.0kW					
	夏期消費電力	3	2.78kW					
	冬期高温加熱能力	1　4	14.0kW					
	冬期高温消費電力	4	3.50kW					
	運転音	5	46dB（定格時）					
	圧縮機電動機出力		2.5kW					
	送風用電動機出力		60+60W					
	冷媒名（封入量）		R410A（2.4kg）					
	設計圧力		4.15MPa					

システム名称	種類（設置区分）		屋外型（防雨形）		
	相数		三相		
	定格電圧		200V		
	定格周波数		50Hz / 60Hz		
	電源設計	漏電遮断器		30A	
		電源配線	20m以下	燃線5.5mm ²	
			50m以下	燃線14mm ²	
	最大電流		20A		
	沸上げ温度		65 、 67 、 70		
	用途		業務用給湯		
メイン貯湯タンクユニット	形名		HWS-M561T1		
	タンク容量		560L		
	消費電力	制御	15W		
		凍結防止ヒータ	20W		
	質量（満水時）		90kg（650kg）		
	形状		角形配管内蔵（減圧弁・逃し弁）		
	外形寸法	幅(mm)	700		
		奥行(mm)	800		
		高さ(mm)	2100		
	安全装置		過圧防止弁、逃し弁、負圧弁		
配管口径		給水・給湯・連結口(B),(C)：R3 / 4（オネジ） 排水：Rc3 / 4（メネジ） 接続口（水側、湯側）・連結口(A)：R1 / 2（オネジ）			
配管方式		直結方式（減圧弁設定圧力：170kPa）			
最高使用圧力		190kPa			
サブ貯湯タンクユニット	形名		HWS-S561T		
	タンク容量		560L		
	質量（満水時）		80kg（640kg）		
	外形寸法	幅(mm)	700		
		奥行(mm)	800		
		高さ(mm)	2100		
	安全装置		過圧防止弁		
	配管口径		連結口(2),(3)：R3 / 4（オネジ） 排水：Rc3 / 4（メネジ）・連結口(1)：R1 / 2（オネジ）		
最高使用圧力		190kPa			
貯湯タンク組み合わせ		メイン貯湯タンクユニット + サブ貯湯タンクユニット	メイン貯湯タンクユニット + サブ貯湯タンクユニット + サブ貯湯タンクユニット		
タンク総容量		1120L	1680L		
リモコン	形名		HWS-51R1		
	外形寸法(幅×奥行×高さ)(mm)		137×25×126		
	操作		タンク湯温調節・タンク沸増し・タンク湯温・現在時刻合わせ・音量調節		
	表示		電源・沸上げ中・タンク湯温表示 残湯量・現在時刻・エラーコード・沸上げ温度設定・沸増し（少量・全量・おまかせ）		
ヒートポンプユニット	形名		HWS-1401H1		
	外形寸法		幅900×奥行320×高さ1575		
	質量		120kg		
	ポンプ		DC280V-70W		
	定格加熱能力	1 2	14.0kW		
	定格消費電力	2	3.14kW		
	夏期加熱能力	1 3	14.0kW		
	夏期消費電力	3	2.78kW		
	冬期高温加熱能力	1 4	14.0kW		
	冬期高温消費電力	4	3.50kW		
	運転音	5	46dB（定格時）		
	圧縮機電動機出力		2.5kW		
	送風用電動機出力		60+60W		
	冷媒名（封入量）		R410A（2.4kg）		
	設計圧力		4.15MPa		

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

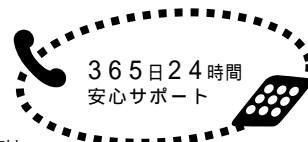
業務用
ヒートポンプ給湯機
修理ご相談窓口

0120-809-020

365日24時間修理受付 全国どこからでも

東芝設備工業株式会社

・サービス受付には登録が必要です。登録につきましては営業担当にお問い合わせ下さい。



365日24時間
安心サポート

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供することがあります。

保証書 (別添)

この東芝ヒートポンプ給湯機には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

この東芝ヒートポンプ給湯機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。ユニットの故障に起因した営業保証など間接的な損害についての保証はいたしかねます。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ヒートポンプ給湯機
形名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	電話番号 訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。



愛情点検

長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検をぜひ！

このような
症状は
ありませんか。

お湯の出が悪い。
お湯が早くなる。
逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。
設置場所が常にぬれている。
時々、漏電遮断器が働く。
その他の異常、故障がある。



ご使用
中 止

故障や事故防止のため、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてから、必ずお買い上げの販売店に点検修理(有料)をご相談ください。

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地